

アークの出発点

アークどこでも本読み隊は、全盲の本の虫である堀内佳美が2010年1月に設立した非営利団体です。彼女はバンコクに留学中、国内各地の村や障害者関連団体を訪れました。そして、本の価格が高い、農村地域に図書館が不足しているなどの理由から人々が活字の情報に手が届きにくい状況にあることを知りました。そこから彼女は本と人々を繋げる方法を考え始めたのです。

知っていましたか？ タイでは本は身近なものじゃない

タイでは本は高価なものです。一日の最低賃金が300バーツ、単行本は1冊200~400バーツ(1000円前後)します。

公立図書館は大きな都市以外ほとんどなく、数はかぎられています。自由に本を借りられる図書館は非常に少ないです。

学校に図書室はありますが、学習に使う書籍が中心です。自由に借りられないこともしばしばです。

ランマイ図書館ができるまで、プラオには子供向けの本が置いてある図書館はありませんでした。市場の近くの本屋には雑誌やほこりをかぶった本ばかり。大きな書店は、車で2時間のチェンマイ市内に出なければなりません。

一般的にタイの人は本を楽しむものというより、学習の道具と考えています。

タイの子どもの多くが読書の喜びを知らずに育ちます。特に地方では教科書以外の本に出会う機会すらほとんどないのです。

アークの活動

■図書館活動

ランマイ図書館(チェンマイ県プラオ郡)
大人も子どもも、だれもが利用できるコミュニティ図書館として2013年にオープンしました。本を借りるだけでなく、Wi-Fiも無料で利用できます。タイ語、外国語のあらゆるジャンルの本5000冊、DVD300本があります。タイと日本から資金援助をいただき2016年にリニューアルオープンしました。

■移動図書館(チェンマイ県プラオ郡)

2016年に寄贈された図書館カー(はるの号)に本やおもちゃを乗せて郡全域を回ります。村の広場やお寺で読み聞かせや本の貸し出しをし、一緒に工作もします。また外に出かけられない高齢者や障害者を訪問し、本の貸し出しをしています。

■少数民族の子どもたちのための教育支援

現在学校のない地域3か所で活動中。タイの学校は「タイ語」で授業が行われますが、少数民族の子どもたちの母語はタイ語ではありません。そこでタイ語を教え、自信を持って学校生活が送れるよう支援します。教師はタイ語のできる村人です。ここでは栄養支援として給食やおやつも提供していますが、費用は村も負担し調理も村の人たちがやります。村の主体性を重視し、その活動をアークが支援しています。

「太陽の家」

(チェンライ県ウィアンパバオ郡シップラン村)
アカ族、ラフ族の子どもたちが勉強しています。

「みつばちの家」

(チェンマイ県プラオ郡メーバン地区メーヌン村)
カレン族の子どもたちが勉強しています。

「笑顔の家」

(チェンマイ県プラオ郡メーウェン地区メーウェンノイ村)
リス族の子どもたちが勉強しています。



これらの活動を支えるために

1万円でできること

- ・本の購入10冊~30冊
- ・移動図書館の車のガソリン代半月分
- ・通信料3ヶ月分
- ・スタッフ1名の給料10日分
- ・一つのセンターの半月分のおやつ代



リーダソン (read-a-thon)

子どもが本を1冊読むごとに、保護者が一定金額を寄付するというチャリティ活動です。タイではインターナショナルスクールを中心に、子どもたちが本を読むことで、読書の機会がない子供達の支援につながります。堀内佳美が直接学校を訪問し、子どもたちに読書の楽しさを伝えます。一緒に取り組んでくれる学校・団体を随時募集しています！世界の活動例はリーダソン (read-a-thon) でご検索ください。

アークの夢

私たちは想像します。今から数十年先、コミュニティや他団体との協力で、小さな図書館が国中にでき、そこが本の虫たちの憩いの場となることを。そして、多くの移動図書館が昔の紙芝居屋のように各地を周り、子どもや大人達が好きな本を選んでいくことを。



「世界にはこんなところがあるんだ!? こんな人がいるんだ!?」
というように、本には自分の世界を広げる力があります。子どもたちが本と触れ合うことができない環境にあるときに、子供たちのところに本が自ら歩いていくような、足の代わりになる活動をしていきたい」
佳美

堀内佳美
ほりうちよしみ

アークどこでも本読み隊とは

非営利、非政府、非宗教の団体で、障害の有無に関係なく子どもから大人まで本と触れ合う機会が少ない人たちに、移動図書館サービスなどを提供しています。

アークのミッション

- ✓ 楽しみのための読書の喜びを知ってもらう
- ✓ 様々なバックグラウンドをもつ子ども、大人に対して平等に読書の機会を提供する
- ✓ 障害を持つ子どもと、持たない子どもが心のバリアを取り除き、共存することを応援する

活動の様子はこちら
をご覧ください!



アークどこでも本読み隊
www.alwaysreadingcaravan.org
www.facebook.com/ARCBookworm
ランマイ図書館
www.Facebook.com/HongSmudRangMailLibrary
YouTube
www.youtube.com/user/AlwaysReadingCaravan

あなたもできるアークのサポート

アークのすべての活動はサポーターからの寄付で賄われています。また、活動も数人のスタッフ以外、ボランティアによる人的支援で実践されています。ご支援よろしく申し上げます。

■運営サポーター募集

- ・パンフレットの改定や、メールの対応をしてくださる方
- ・サポート企画をしてくださる方
- ・講演会の企画をしてくださる方

■学校パートナー募集

リーダソン（裏ページ参照）に参加して下さる学校/団体の皆様

■企業パートナー募集

CSRとしてアークの活動を支え、活動パートナーになってくださる企業の皆様

■資金サポーター募集

安定した活動のために、一口1000パーツ（3000円）で年会員を募集しています。会員になってくださった方には活動報告メールを定期的にお送りさせていただきます。お手数ですが送金後確認のため、お名前、口数、金額をこのメールアドレスにご連絡をお願いします。

japanese@alwaysreadingcaravan.org

タイバーツ振込先

口座名：Always Reading Caravan Association
銀行名：Kasikorn Bank 支店名：Phrao
口座番号：当座 (current account) 792-2-11682-7

日本円振込先

口座名：アークどこでも本読み隊
銀行名：みずほ銀行
支店：高知支店 口座番号：普通 1954538

タイ国内の皆様へ

◆服をお送りください!

冬は零下近くになる地域もあります。新旧問わず、ベビー服、子ども服、大人物の冬服歓迎。アークを通じてこの地域に届けます。

◆本の寄贈

日本語や英語のしかけ絵本、音の出る絵本、タイ語（教科書以外）の本、タイ語のマンガ学習本大歓迎（状態の良い本に限る）。

[服と本の送付先]

Ms. Yoshimi Horiuchi PO Box6 T. Wiang, A. Phrao, Chiang Mai 50190, Thailand

[問い合わせ・連絡先] Tel : 083-542-7283 (堀内佳美)

E-mail: japanese@alwaysreadingcaravan.org

件名を「アーク支援」とお書きの上お送りください。

Always Reading Caravan Association

ARC

アークどこでも本読み隊

世界とつながる読書の喜び



全盲の堀内佳美が、自身を様々な世界へと導いてくれた"本"の力を信じてはじめた夢への活動。どんな子どもたちにも読書や学習の楽しさ喜びを届けたい。"図書館の種、笑顔の種"をまき、その環境が根付き、多くの方が社会参加できるように・・・その想いを胸に2010年タイで始動しました。